

## 令和2年度事業報告

### I. 事業概要

令和2年度は、正に新型コロナウイルスの脅威に世界中がおののいた年でした。昨年の夏、56年ぶりに日本で開催される予定だった東京五輪、東京パラリンピックは、1年後の延期を余儀なくされました。開催まで100日を切った今になっても、開催の是非が問われています。令和3年度に入っても未だに収束の目途は立っておらず、より深刻な社会的・経済的混乱が予想されています。

さて、昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、当センターの事業運営にも少なからず影響がありました。当センターの事業実績においても、プラスの側面とマイナス面が混在した1年でした。プラスの要因となったのは、市内小・中学校10校の教室や手洗い場など生徒が接触する箇所を消毒液で清掃する『たがじょうクリーンスクールプロジェクト除菌業務』を7月から3月までの9カ月間、多賀城市から受注することができたことです。地域班長の皆さんが中心となって約100名の会員さんがこの仕事に従事し、その結果として事業実績を押し上げたばかりでなく、生徒さんや学校関係者の方々に大変感謝されたことは、当センターにとって大きな喜びでもありました。また、一方では、当センターに仕事を発注してくださっている企業の一部にも深刻な影響が及び、派遣契約の打ち切りや就労会員の人員削減等を余儀なくされました。

上記の要因等により、事業実績では、請負・委任事業の就業延べ人数が前年度比で4,156人日の増、受託金額でも6,369,832円上回りました。また、派遣事業の就業延べ人数は317人の増、受託金額は5,181,582円の減額となりました。事業全体の就業延べ人数は42,148人日(前年度比4,473人日の増)、受託金額の合計額は188,779,243円(前年度比1,188,250円の増)となりました。

また、令和2年度事業計画の中で設定した重点4項目のうち、①「安全就業の徹底」は、事故件数が前年度と同じ15件となり、安全就業に対する意識が未だ浸透しきれていない結果となりました。事前打合せ等の重要性を自覚し、防ぐことができる事故を如何に減らしていけるかが課題として残りました。②「更なる会員の確保」は、会員数が前年度より12名減少しましたが、入会者がほぼ同数だったのに対し、病気や加齢を理由に退会した方が37名もいたことが響きました。今後、どの様にすれば新入会員を確保できるのかを考えていかねばなりません。③「就業機会の更なる開拓と適材適所の就業機会の提供」は、コロナ禍で営業活動が制限される中、会員各位の積極的な就業意欲と協調性及び責任感により、概ねうまく運営できたものと思われまます。④「公益社団法人としての組織強化と経営の安定」については、会員はもとより役員、専門部会、地域班、職域班及び事務局が『地域貢献』という目的を共有し、一体となって地域社会に開かれた運営に努めてまいりました。

以上、令和2年度の課題と成果を踏まえ、以下のとおり事業報告いたします。

《事業実績》

1. 請負・委任事業

	令和2年度	平成31年度	増減	前年対比
会 員 数	530 人	542 人	△12 人	97.8%
受 託 件 数	2,443 件	2,751 件	△308 件	88.8%
就業延人数	25,332 人日	21,176 人日	4,156 人日	119.6%
受 託 金 額	101,202,788 円	94,832,956 円	6,369,832 円	106.7%
就 業 率	71.3%	65.1%	6.2%	109.5%

※注：上記の就業率算定に係る就業実会員数には、請負・委任事業ばかりでなく、労働者派遣事業で年間を通して就労した会員 91 名(男 79、女 12)を含む。  
(請負・委任及び派遣の実人員 287 名+派遣のみの実人員 91 名=378 名)

2. 労働者派遣事業

	令和2年度	平成31年度	増減	前年対比
年度未受託件数	45 件	50 件	△5 件	90.0%
就業延人数	16,816 人日	16,499 人日	317 人日	101.9%
受 託 金 額 (含.連合会手数料)	87,576,455 円	92,758,037 円	△5,181,582 円	94.4%

II. 年度目標に対する実績結果

1. 会員事故：就業中・就業途上の傷害及び賠償事故 0 件

⇒結果：傷害事故 5 件、賠償事故 8 件、労災事故 2 件

2. 会 員 数：正会員 5 6 8 名(うち女性会員 1 7 0 名)に対し

⇒結果：正会員 5 3 0 名=達成率 9 3 . 3 %

(うち女性会員 1 4 3 名)=達成率 8 4 . 1 %

: 当市の 60 歳以上の人口に対する会員の入会率 3 % 以上に対し

⇒結果：2 . 7 5 % = 達成率 9 1 . 7 %

: 賛助会員 2 6 団体に対し

⇒結果：2 4 団体=達成率 9 2 . 3 %

3. 就 業 率：8 0 % [含む. 労働者派遣事業] に対し

⇒結果：7 1 . 3 % = 達成率 8 9 . 1 %

4. 事業実績：受託・独自事業収入金額 97,000,000 円に対し

⇒結果：101,202,788 円=達成率 1 0 4 . 3 %

: 受託・独自事業就業延人員 22,000 人/日に対し

⇒結果：25,332 人日=達成率 1 1 5 . 1 %

: 労働者派遣事業契約金額 96,000,000 円に対し

⇒結果：87,576,455 円=達成率 9 1 . 2 %

: 労働者派遣事業就業延人員 18,000 人/日に対し

⇒結果：16,816 人日=達成率 9 3 . 4 %

### Ⅲ. 事業実施報告【公益目的事業の内容】

#### 1. 就業開拓提供事業

##### ◎今年度は特に

- ・『受注機会を逃さないために、会員増強を促進する事』
- ・『組織活性化のために、女性会員の活動の場を拡大する事』
- ・『量より質を追求＝お客様に100%満足していただく事』

#### (1) 会員の入会促進及び退会抑止の取組み

##### ① 入会承認手続きの簡素化及び迅速化

⇒結果：正会員の入会承認を理事会ではなく、理事長承認に変更【5月29日開催の令和2年度定時総会にて定款の一部改正済】。

##### ② 「女子会」組織の活性化とサークル活動との連携

⇒結果：女子会を年3回(7/4、10/17、2/6)開催し、女性会員の活動の場を拡大する方法を検討。女性会員実人員40名(延べ65名)出席。

：宮城県SC連合会と連携し「資質向上のための研修会」開催  
→12月15日多賀城市文化センター小ホールにて「女性のための朗読会」を開催し、一般高齢者56名が来場し傾聴した。  
当日は、当センター女性会員14名を始め、連合会職員6名等が受付や会場案内等の役割を分担した。

：フリーマーケットへの出店・販売【コロナ禍で目途立たず】

：ボランティア活動(施設慰問等)【検討中】

：サークルとの交流促進・連携強化【未着手】

##### ③ 週刊誌的“視覚に訴える”チラシの活用

⇒結果：6月全世帯配布〔第1回目(定年退職者向・入会説明会開催予定表の両面チラシ20,570枚)〕

：2月全世帯配布〔第2回目(定年退職者向・入会説明会開催予定表の両面チラシ20,860枚)〕

##### ④ 入会説明会(月2回)の継続

⇒結果：年24回実施し、合計90名(男性64名、女性26名)出席。  
昨年度に比べ34名(男性12名、女性22名)の減少。

##### ⑤ 「入会説明会」ご案内チラシの全世帯配布(年3回程度)

⇒結果：11月全世帯配布〔第1回目(受注職種・入会説明会開催予定表の両面チラシ20,860枚)〕

：3月全世帯配布〔第2回目(受注職種・入会説明会開催予定表の両面チラシ20,860枚)〕

##### ⑥ 入会後の迅速な就業機会の提供

⇒結果：新入会員対象の安全講習会終了時に、発注者の要望や会員の希

望等を考慮し、出来るだけ早く就業できるようマッチングに努めた。

⑦サークル活動等生きがい・趣味等の情報提供と活動継続のための裏方支援

⇒結果：ワークプラザ施設内に「サークル紹介コーナー」を設け、勧誘チラシを常時設置。また、全世帯配布の会報『シルバー多賀城・新年号』の「会員大募集コーナー」で手芸サークル「はまなすの会」と同サークル「手作りの会」を掲載し紹介。しかし、コロナ禍の影響で一部サークル活動の自粛を余儀なくされた〔カラオケ、たびくらぶ、家庭菜園、釣りクラブ等〕。

⑧シルバーワークプラザ自主事業の充実と利用登録者への積極的勧誘

⇒結果：多様なメニューを企画し、当センターに足を運んでいただくよう努めたが、新型コロナウイルス感染拡大により計画通りの運営ができなかった。特に、人気のあった英会話教室は外国人講師の確保ができず再開の目途立たず。生きがい教室等の自主事業を7月から再開し、引き続き、受講者に対し積極的に入会を促した。その結果、ワークプラザ利用登録後の入会者を9名(男性8名、女性1名)増やすことができた。

⑨ハローワークとの連携強化

⇒結果：ハローワーク塩釜及び多賀城市地域職業相談室と連携し、入会促進チラシ(入会説明会の日程等記載)を常備し、就業希望の高齢者に当センターを紹介していただき、入会説明会出席に誘導。2カ月ごとにチラシの入れ替えを実施。

⑩長老会員に対し、地域班員全員で地域班会議への出席を促すと共に、日頃から事務局職員による声掛けを強化

⇒結果：宮城県内において新型コロナウイルス感染拡大により、毎年2月～3月にかけて実施している地域班会議は、中止。長老会員には、年明けに行っている未就業会員への就業意思等確認の際に、当センターベテラン職員等から電話し、継続して在籍してもらえよう声掛けした。

◎ 令和2年度入会者数 54人(男37人、女17人)

<年齢別>

(人、%)

	男	女	合計	比率
60～64歳	1	7	8	14.8
65～69歳	10	8	18	33.3
70～74歳	18	1	19	35.2

75～79歳	7	1	8	14.8
80歳～	1	0	1	1.9
合 計	37	17	54	100.0

<入会経路> (人、%)

	男	女	合 計	比 率
公 共 機 関	12	5	17	31.5
会 員 ・ 知 人	4	2	6	11.1
マ ス コ ミ	1	0	1	1.9
センターの広報	20	9	29	53.6
そ の 他	0	1	1	1.9
合 計	37	17	54	100.0

<入会動機> (人、%)

	男	女	合 計	比 率
生きがい、社会参加	8	6	14	25.9
仲 間 作 り	1	0	1	1.9
時 間 的 余 裕	4	2	6	11.1
健康維持・増進	17	7	24	44.4
経 済 的 理 由	7	2	9	16.7
そ の 他	0	0	0	0.0
合 計	37	17	54	100.0

◎ 令和2年度退会者数 66人（男43人、女23人）

<退会事由> (人、%)

	男	女	合 計	比 率
病気のため（本人）	18	6	24	36.4
シルバー事業を通じて就職	1	0	1	1.5
そ の 他 で 就 職	6	2	8	12.2
死 亡	1	1	2	3.0
転 出	0	1	1	1.5
希望する仕事がない	1	0	1	1.5
就業機会提供不足	1	0	1	1.5
家庭の事情（介護等）	4	2	6	9.1
会 費 未 納	0	1	1	1.5
加 齢	8	5	13	19.7
他団体等への加入	0	2	2	3.0
センター運営に対する不満	0	0	0	0.0

未回答（不明）	0	1	1	1.5
その他	3	2	5	7.6
合計	43	23	66	100.0

(2) 請負・委任事業

植木剪定や除草の職種は、受注量に対応しうる人材の確保及び技能の更なる向上が必要

①令和2年度分の植木剪定予約受付開始日を1月20日に統一

⇒結果：【申込状況】1/20(207件・年複数回を含む)、1/21(45件)、1/22(20件)＝3日間合計272件で、2年目となる令和2年度も大きな混乱なし。発注者の希望内容（作業月・作業班等）に応じた計画的運用が可能となった。

②空き家管理業務及びお墓清掃サービスを多賀城市の『ふるさと・多賀城応援寄附指定返礼品』として申請し登録

⇒結果：平成31年度に引き続き、令和2年度も令和2年2月26日付だけで申請し4月登録されたが、令和2年度の利用者はなし。

③請負・委任で受注できる仕事（除草、植木剪定、屋内外清掃、襖・障子張り、大工、伐採、筆耕等及び委任された業務を会員が自分の裁量で処理する一般事務等）を積極的にPR。一般家庭就業開拓時、チラシ等をポスティング

⇒結果：コロナ禍のため、今年度は対面でのPR活動は自粛。

実績：営業訪問件数 323件

内訳(1)会員獲得推進 210件

(2)就業機会開拓 102件

(3)女性就業推進 11件

：ポスター掲示箇所件数 141件

（うち地域班単位普及啓発業務委託箇所88箇所）

：入会説明会等チラシ設置件数 13件

④巻込み車による残材運搬・処理までの一連作業が可能であることをアピールし受注促進

⇒結果：該当職種受注の際、経費面での優位性を説明しアピールした。

⑤「一人暮らしの高齢者」を支える家事援助事業の推進

平成28年度から多賀城市から委託されている新総合事業「介護予防・日常生活支援事業」に組織的に対応できる体制を整備する（認知症サポーター講習会やハウスクリーニング講習会への受講促進継続。事務局と従事会員との情報交換を強化すると共に、各種研修会へ参加し技能向上を図る）

⇒結果：受託件数26件(利用者数26人、従事会員21人、会員就業延

人員 807 人)、受託金額 769,500 円。認知症サポーター講習会  
 (年 7 回、受講者延人員 39 人)、ハウスクリーニング講習会(年  
 5 回、受講者延人員 35 名)を開催し、従事会員を育成。

< 請負・委任事業：発注者別受注状況 >

(件、%、円)

発注者別	受託件数				受託金額			
	R 2 年度	31 年度	増減	前年比	R 2 年度	31 年度	増減	前年比
公 共	464	494	△30	93.9	53,099,371	40,402,526	12,696,845	131.4
一 般 企 業	279	391	△112	71.4	12,243,164	14,351,615	△2,108,451	85.3
家庭、個人	1,699	1,864	△165	91.1	35,810,253	39,956,885	△4,146,632	89.6
独 自 事 業	1	2	△1	50.0	50,000	121,930	△71,930	41.0
合 計	2,443	2,751	△308	88.8	101,202,788	94,832,956	6,369,832	106.7

### (3) 労働者派遣事業

企業の求人に対し、迅速な適任者の選定と法令に沿った適切な対応に努める

#### ①業務内容を精査し、適正な契約形態での受注

⇒結果：平成 29 年度から本格的に交渉を開始し、既取引企業においては、平成 31 年度末までに請負・委任契約からの円滑な移行が完了している。新規の受注物件は、「指揮命令が発生する業務内容」等の仕事は、法令に基づき派遣契約で受注している。

#### ②就業開拓員等による営業活動(特に民間企業)の継続

⇒結果：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個別訪問営業は自粛せざるを得ない状態。

#### ③会員への電話による就労意向打診及び求人情報の提供等により、適材適所の人選手続き

⇒結果：今年度未だ就業していない会員へ随時打診。また、例年通り 12 月末現在で未就業の会員には、健康状態や就業意思等を電話で確認。また、全会員へ求人情報を年 7 回送付〔N o. 77(4/6 現在)、N o. 78(5/15 現在)、N o. 79(6/2 現在)、N o. 80(7/31 現在)、N o. 81(11/2 現在)、N o. 82(1/8 現在)、N o. 83(2/26 現在)〕し、会員本人の就業希望を優先し、適材適所の人選に努めた。

#### ④労働者派遣法等の関係労働法規厳守義務を果たすため、宮城県 S C 連合会との連携強化

⇒結果：派遣元の本部と多賀城市事業所の関係により、緊密に連携し事業展開。特に、今年はコロナ禍による企業の休業要請に対する就業会員への休業補償等の対応等で連携を強化した。

#### (4) 職業紹介事業

当センター正会員の身分のまま、就労を希望する会員がほとんどのため、従来どおり労働者派遣事業に重点を置いて推進した結果、令和2年度は、求人及び求職の申請はなく、実績なし。

## 2. 普及啓発事業

新規会員加入促進及び就業機会確保のために、効果的な普及啓発活動を実施する

### (1) 入会促進のための普及啓発

#### ① 『会員一人、新規会員1名確保運動』の推進

⇒結果：令和2年度の入会者54名のうち6名（11.2%）が入会経路「会員・知人」。例年は、定時総会や地域班会議等の場で、会員各位に直接依頼する機会があったが、今年度はコロナ禍のため、いずれの集会も規模を縮小しての開催あるいは中止となり、対面という形では十分に説明・啓発できなかった。

#### ② ワークプラザでの自主事業のご案内を行政区回覧板に掲載すると共に、公共施設に勧誘チラシを常備

⇒結果：令和2年度から周知方法が変更（行政区長制度の廃止に伴い、市から町内会に依頼していた広報物の配布ができなくなった）。従来の奇数月の「回覧版」ではなく、市制日より「多賀城NOW」のイベント情報コーナーに毎月掲載して頂いた。また、主要公共施設に常備し普及啓発に努めた。

#### 【勧誘チラシを常備している公共施設13箇所】

- ・多賀城市役所
- ・多賀城市文化センター
- ・多賀城市立図書館
- ・多賀城市市民活動サポートセンター
- ・多賀城市大代地区公民館
- ・多賀城市山王地区公民館
- ・多賀城市史遊館
- ・多賀城市総合体育館
- ・多賀城市市民プール（屋内天井補修工事の為、3月末まで休館）
- ・多賀城市市民テニスコート
- ・多賀城市シルバーヘルスプラザ
- ・ハローワーク塩釜
- ・ハローワーク塩釜多賀城市地域職業相談室

#### ③ ワークプラザ来館者及び利用登録者、講習会等受講者への積極的な勧誘

⇒結果：4月から6月までは、ワークプラザ自主事業が中止となったが、9月以降の各教室修了式後、事務局職員が受講者に対し、入会説明会への出席を促し勧誘に努めた。令和2年度ワークプラザ新規利用登録者86名（男性41・女性45）のうち、登録後に9名（男性8・女性1）が入会した。



④地域班単位の地域連絡所(普及啓発業務を委託)を増設する。87箇所(H31年度実績)を100箇所以上に。

⇒結果:6月22日第1回地域班長・副班長会議にて趣旨・委託仕様内容を説明。7月中に、班長がポスター掲示連絡所を選定し取りまとめ(8/21事務局提出)[会員宅5世帯につき1件の割合]。  
・9月末現在=18地域班から申請有・連絡所88箇所設置。  
・10月から順次、ポスター掲示及び維持管理。

⑤会員が就業している仕事内容及び入会説明会日時を掲載した入会促進チラシを全世帯配布

⇒結果:前出1.就業開拓提供事業・(1)会員の入会促進の③・⑤参照。

⑥会員の生き生きとした情報を満載したシルバー会報『新年号』の市内全世帯配布

⇒結果:12月24日第1回地域班長会議にて依頼し23,496部配布。

⑦ホームページによる情報公開

⇒結果:4/10付け更新(「ワークプラザ各種教室等中止のお知らせ」、  
「平成31年度お客様満足度アンケート調査結果」、「令和2年度事業計画及び収支予算書」)  
:5/1付け更新(「ワークプラザ各種教室等中止〔再延長〕のお知らせ」)  
:6/24付け更新(「ワークプラザ技能講習会・各種教室・スポット教室のご案内」、「入会説明会の日程」、「平成31年度事業報告及び決算報告」)  
:9/2付け更新(「ワークプラザ技能講習会・各種教室・スポット教室のご案内」、「入会説明会の日程」)  
:11/5付け更新(「入会説明会の日程」)  
:1/6付け更新(「会報・シルバー多賀城第95号」、「入会説明会の日程」、「クリーンプロジェクト事業に従事している会員の写真が多賀城市広報誌1月号の表紙に掲載されました。」)

⑧市政だより「多賀城NOW」に入会説明会のご案内掲載

⇒結果:毎月、説明会日時等掲載

⑨企業・商店・掲示板等への入会促進ポスターを継続掲示⇒結果:随時

⑩地域貢献ボランティア活動及び会員同志の絆強化事業の実施(春=地域班単位での活動、秋=全体での活動)

⇒結果:5~6月地域班単位「春の清掃奉仕」は、コロナ感染拡大懸念のため中止。

:「秋の清掃奉仕活動及び会員同志の絆強化事業」

(シルバー人材センター事業普及啓発月間10/1~31)

毎年、会員全員に参加を呼びかけ10月の第3日曜日に実施

している清掃奉仕活動(多賀城駅前から当センターまでの公道と公園を清掃)及び芋煮会は、コロナ禍のため中止。その代わり地域班単位でのボランティア活動を10月に実施し、19の地域班で総勢162名参加。

⑪取引協力企業等に対し、賛助会員への加入促進

⇒結果：開拓員が随時交渉(ポスター等掲示協力企業、請負業務取引継続企業、物品購入先企業等)しているが、新型コロナウイルス感染拡大のため個別訪問・交渉は自粛。会報新年号(第95号)に「賛助会員名簿」を掲載し、市民に紹介。

⑫新規サークル活動の発掘と積極的な情報発信

⇒結果：コロナ禍により4月からサークル活動自粛中のため、事務局専用ラックを活用しての情報発信停滞。会員有志が中心となって準備を進めていた「ダンス・太極拳」サークルは、コロナ禍の影響で活動再開の目途立たず。

(2)就業機会開拓のための普及啓発

①発注者への最も効果的な普及啓発の方法は、発注者に満足していただける仕事をする事

《会員各位への呼掛け》“あなたなら任せられる”と思ってもらえる  
人間関係の構築こそが大切

⇒結果：会員各位も事務局も努力したはず。「お客様満足度調査」結果のとおり。

②公共施設・企業・商店等へのPRチラシの配布及び常備⇒結果：随時。

③会員による市内商業施設店舗前での普及啓発活動

⇒結果：3/14(日)市内9カ所で予定していたが、コロナ禍のため中止。

④「多賀城市民市」へ出店し、独自事業の展示販売

⇒結果：手芸サークル(はまなすの会、手作りの会)が出店し展示販売する予定だったが、残念ながら「市民市」自体が中止。

⑤多賀城市シルバーワークプラザでの手芸品の展示販売

⇒結果：会員手造りの手芸品を常時展示し、来館者の希望があれば販売しているが、令和2年度は販売実績なし。

⑥ボランティア活動〔市内清掃活動＝春・秋〕の実施〔前出・普啓(1)⑩と同じ〕

⑦春夏秋冬の簡易パンフレット“こんな仕事もお任せくださいPR”を発注者への請書送付時同封⇒結果：実施中。

⑧『会員一人一人が営業マン運動』の推進

⇒結果：特に、一般家庭で就業する植木剪定や手刈り除草従事会員に対し、随時協力要請。

### 3. 研修・講習事業

多賀城市シルバーワークプラザを有効活用し、自主事業として各種技能講習会及び社会参加促進事業を開催し、60歳以上の市民に広く受講を呼掛け、受講後入会に繋がるよう努める

#### (1) 技能職希望会員(含.ワークプラザ利用登録者)対象

技能習得による就業機会の獲得・拡大を図るための技能講習会(襖張り・障子張り、クロス張り、網戸張り、植木剪定、塗装、ハウスクリーニング、書道、普通救急・救命)の実施

⇒結果:書道(4月～6月まで中止。7月から再開)を除く技能講習会は、4月～5月まで中止。再開後は、定員の半分に制限し実施。

普通救急・救命講習会は、例年年2回実施しているが、今後ともコロナ禍の影響で救急医療機関(毎回、講師の派遣を多賀城消防署へ依頼)が切迫する状況が予想されるので、今年度は中止となった。

#### (2) 正会員対象

①会員が就業するうえで必要な知識を習得するための安全衛生講習会(安全就業、接遇マナー、シルバー理念認識等)の実施

⇒結果:今年度で3回目、衛生委員会が企画。コロナ禍のため、未受講の会員全員に受講を促すのではなく、初めて派遣契約で就労し過去に安全衛生講習会を受講していない会員(30名程度)に限定し、令和3年2月に実施予定。コロナウィルス感染拡大を防止するため、実施にあたっては①三密を避けるため、会場を多賀城市市民活動サポートセンター3階大会議室(定員72名・椅子席のみで100名)とすること②マスクの着用、入室時の体温測定、入退室時の手指の消毒の徹底すること

②新入会員に「認知症サポーター講習会」及び「ハウスクリーニング講習会」受講の義務化

⇒結果:認知症サポーター講習会は、年7回実施し39名受講。

:ハウスクリーニング講習会は、外部講師により年5回実施し35名受講。

#### (3) 正会員及びその他の市内高齢者対象

①生きがい対策教室(パソコン、手芸、英会話、料理、日曜大工、囲碁・将棋、グランドゴルフ、俳句、日本画、レザークラフト、折り紙、着物着付け、生け花等)の開催

⇒結果:コロナ禍により3月～6月まで全ての教室を休止し、7月から一部再開。ただし、英会話教室は、講師を確保できず中止。対面形式で行われる囲碁・将棋教室も1日だけ開催したが、コロナ感染リスクが高いことから中止。スポットで予定していた日本画(新規)、着物着付け、生け花は、諸事情により中止。

②自動車運転実技適性診断講習会の実施

⇒結果：60歳以上の市民にも呼掛け、1/28(木)～2/1(月)の平日3日間実施し、79名受講。

(4)労働者派遣事業で雇用される正会員対象

①派遣作業内容により必要とされる技能や知識を身に付ける研修会への参加促進(宮城県SC連合会及び派遣先での研修会を含む)

⇒結果：受注した派遣事業の作業内容は、特別な技能を要しないものがほとんどであり、当センター独自では特別な技能習得を目的とした研修会は実施していない。派遣先企業で実施する研修会へ参加(企業1社のみ了承)。

・塩釜地区資源化組合6/30実施済、12/2予定分はコロナ禍のため中止(講習資料のみ配付)。

⇒結果：今年度初めて派遣事業で就労し、かつ過去2回実施した安全衛生講習会を受講していない会員30名(12月末現在)を対象とする安全衛生講習会を、2/19(金)多賀城市市民活動サポートセンター3階大会議室において実施。

《地域高齢者対象の多賀城市シルバーワークプラザ自主事業》

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を半分に実施】

	技能講習・教室名	開催日数	延受講者数
1	襖・障子張り	4日	12人
2	網戸張り	1日	6人
3	クロス張り	1日	2人
4	植木剪定	5日	27人
5	塗装	2日	6人
6	ハウスクリーニング	5日	35人
7	実用書道	34日	269人
8	自動車運転適性診断	3日	79人
9	パソコン(初級)	27日	248人
10	パソコン(中級)	18日	162人
11	パソコン(応用)	9日	79人
12	ウッドクラフト〔日曜大工〕	35日	287人
13	手芸	21日	181人
14	俳句	18日	150人
15	囲碁・将棋	1日	2人
16	折り紙	4日	33人
17	レザークラフト	6日	48人

18	各教室に係る連絡調整会議	25日	85人
19	料理・健康 (中央公民館調理室にて)	9日	143人
20	グランドゴルフ (多賀城市中央公園にて)	20日	441人
合 計		248日	2,295人

※本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上記の回数及び延受講者数には、各教室に係る連絡調整会議等の出席人員数を含めている。

#### 4. 調査研究事業

##### (1) 未就業会員対象

会員の希望(就業志向 or 社会参加志向 or 両方か)を把握するため、聴き取り調査を実施

⇒結果：令和2年12月31日現在の未就業会員153名に対し、1月下旬から順次、電話で聞き取り調査(働けない主な理由、希望する仕事内容、今後の見込等)を実施し、併せて健康状態等を確認した。未就業理由の上位は、「希望する仕事があれば就業可(23.5%)」、「シルバー以外で就職・アルバイト中(22.8%)」、「体調不良(15.7%)」。その他、ほとんどの方が、本人納得の上で未就業の状態。

##### (2) 一部の70歳未満新入会員対象

技能職種後継者発掘のため、書面による意向調査(興味の有無、経験年数、今後の意思確認等)の実施

⇒結果：令和2年1月1日から同年12月31日までに入会した70歳未満の会員10名を対象に、5職種(襖張り、障子張り、網戸張り、クロス張り、植木剪定)に関する就業意欲・経験等の有無を問う調査を令和3年1月に書面で実施。その結果、3名(複数回答:植木剪定2名、襖張り1名、障子・網戸・クロス張り2名)が興味ありと回答。

##### (3) 発注者(企業、一般家庭)対象

発注者に対するサービス向上を図るため、お客様満足度調査(発注理由、仕事の仕上がり評価、会員及び事務局職員の応接態度、その他意見・要望等)の実施

⇒結果：調査対象件数=130件(一般家庭116件、民間企業14件)

令和3年1月15日に依頼文書を一括郵送、2月12日までに返信用封筒投函依頼。

回答件数64件・回収率49%(家庭55件・47.41%、企業

9件・64.29%)

【調査結果の一部】

「会員の仕事ぶり」＝丁寧 82%、普通 17%、雑 1%、無回答 0

(昨年度は、丁寧 75%、普通 23%、雑 2%、無回答 0)

「仕事の出来具合」＝良い 74%、普通 24%、悪い 1%、他 1%

(昨年度は、良い 69%、普通 25%、悪い 5%、他 1%)

「会員の応接態度」＝良い 81%、普通 14%、悪い 2%、他 3%

(昨年度は、良い 81%、普通 18%、悪い 1%、他 0%)

「職員の対応態度」＝良い 71%、普通 25%、悪い 2%、他 2%

(昨年度は、良い 61%、普通 33%、悪い 1%、他 5%)

「料金」＝割安 75%、普通 20%、割高 2%、他 3%

(昨年度は、割安 76%、普通 18%、割高 2%、他 4%)

令和3年4月に調査結果をホームページに掲載し、市民に公開。

(4) 行政主導の「協議体」へ積極的に参加し、当SCがどのような形で地域貢献できるかを研究

⇒結果：毎月開催される協議体に担当職員が極力出席し、将来の“街づくり”構想に参画。

(5) 「女子会が主体の年間行事」創出のための調査研究

⇒結果：今年度、女子会を3回程度開催し「女性会員が生き活きと活躍できる事業」等を調査・研究〔前出・就業開拓提供(1)の②と同じ〕

## 5. 相談事業

### (1) 正会員対象

- ① 請負・委任契約に基づく就業相談(随時)
- ② 派遣元責任者による労働者派遣事業契約に基づく就労相談(随時)
- ③ 職業紹介事業紹介責任者による職業紹介事業契約に基づく紹介相談(随時)
- ④ サークル活動やスムーズな加入促進に関する相談(随時)

⇒結果：ワークプラザ来館者及び会員からの就業等に関する以上4項目の相談については、職業紹介事業紹介責任者や派遣元責任者であるセンター職員が随時対応。

### (2) 市内高齢者対象

- ① シルバー事業内容概要説明会の開催(毎月2回)
- ② 技能習得及び社会参加活動に関する相談(随時)
- ③ 就業・就労に関する相談(随時)
- ④ その他、相談先窓口の検索・アドバイス

## 6. 安全就業推進事業

### ☆【所属会員全員が心に誓った

#### 令和2年度安全スローガン】

##### ◎植木剪定職域班

『互いに声をかけあい、  
チーム一丸となって事故0を目指します。』

##### ◎機械刈り職域班

『物損事故・傷害事故ゼロ、  
安全最優先、自分勝手な判断で行動しません。』

#### (1) 『命を守るミーティング用シート』の完全履行

⇒結果：『命を守るミーティング用シート』制定の目的の一つは、就業現場で班員全員がミーティングを行い、危険箇所等を共通認識すること。現場での事前打合せの必要性は認識しているようだが、習慣化されていないのが実情。自分自身を守るため、お客様とのトラブルを回避するために、班長ばかりでなく従事会員一人一人が声を上げて、毎日確実に実施してほしい。植木剪定班、機械刈り班、伐採班、塵芥車両運転班には、新型コロナウイルス感染防止のため、自宅での検温測定及びシートへの検温結果の記入をお願いし、就業報告書提出時に「ミーティングシート」の添付を義務付けた。

#### (2) 就業時の安全一声運動の励行(常時)

⇒結果：就業現場や事務局において“気をつけて”の声掛け運動を推進。

#### (3) 新入会員対象に安全講習会開催(入会承認の都度)

⇒結果：理事長承認後、半月に1回・毎回1時間程度の講習会を実施。

#### (4) 安全部会員及び役職員による就業現場の巡回パトロール(年数回)及び安全指導の徹底(随時)

⇒結果：6月から11月まで10回、作業現場69箇所(植木剪定43、機械刈り10、塵芥車4、伐採2、集草4、派遣先企業6)巡回し、安全就業の徹底を図った。

#### (5) 職域班(植木剪定、機械刈り)全員に対する出発式の開催(春先、盆明け)

⇒結果：1回目・春先〔植木班3月13日、機械刈り班5月7日〕実施。  
：2回目・盆明け〔植木班及び機械刈り班8月17日〕実施。

#### (6) 安全部会と職域各班長との安全作業検討合同会議の開催(植木剪定職域5班、機械刈り職域5班)

⇒結果：事故発生状況や安全巡回結果等を検証し、事故の再発防止策を議論すると共に、各班員全員が徹底することを確認。

- ・植木剪定職域班 2月19日実施。
- ・機械刈り職域班 2月25日実施。

(7) 職域班による安全衛生管理計画書の策定及び職域別安全手順書等の随時改定と従事会員に対しての周知徹底

⇒結果：安全衛生管理計画書は、令和2年度事業計画として所属会員総意の基に策定し、全員が出発式等で繰り返し確認・宣誓  
：令和2年度は、職域別安全手順書等の改定なし

(8) 企業構内「機械刈り除草」範囲内の危険個所の事前把握

⇒現状：某企業においては、昨年度2度にわたり構内のケーブル線を切断する賠償事故を起こしている。今年度の作業にあたっては、発注者との事前打合せを強化し、構内平面図上で危険個所を明示していたが、5月25日に昨年度と同じような事故を2件（アース線の切断、配線切断）起こしてしまった。このうち配線切断に関しては、事後に従事会員12名全員で現場検証したにも拘らず、誰が切断してしまったのか解らない状態。草は刈られているのに、その場所を刈った人物が特定できず、会員が任せられた仕事に責任を持つことが求められる当センターにとって大きな課題となった。

⇒結果：《事故後の対策》平面図上に、より綿密な危険個所を表示し、誰がどこからどこまでの範囲を刈るのかを班長が指定・指示し、班員は自分の作業範囲を作業前に歩き点検するよう事務局が会員に説明・指示【以上の対策は、事故発生直後の班長会議で提案し了承を得ると共に、8月17日開催の出発式でも機械刈り職域班会員全員に通知し徹底を促した。】

：7月下旬に今年度2回目の同上企業構内の機械刈り除草を行った際に、上記の対策を実施した結果、賠償事故は発生せず。上記以外の要因としては、①発注者の要望により機械刈り従事会員数を削減したこと（今回は1日あたり4名）②当日の朝作業開始前に、作業現場において発注者担当者、当センター担当職員、機械刈り従事会員全員及び手刈り・集草従事会員全員で、入念な打ち合わせを行い配線切断等の危険箇所を共有したこと③最初に危険箇所周辺を手刈り・集草グループが手刈りし境界線を作った上で、その後機械刈り会員が追いかける形で作業したことが挙げられる

(9) 機械刈り除草・石飛ばし防止対策の徹底

⇒結果：機械刈り班長会議を週1回開催し、ネット張り人員も配置した草刈りスケジュールに基づく対策を強化。

(10) 派遣事業・衛生委員会の開催と情報提供



- ⇒結果：4月の第1回衛生委員会はコロナ禍のため中止となったが、5月からは毎月1回開催。委員会の議事録や産業医による健康講話の内容は、当センター内の「安全掲示板」に掲示し、会員に情報提供。
- (11)安全就業、健康管理等に関する「安全だより」の発行及び配布(会報内コーナーにて掲載)
- ⇒結果：会員全員に送付する7月31日発行の会報『シルバー多賀城第93号(7月号)』の「安全だよりコーナー」で熱中症予防及び新型コロナウイルス感染症予防対策の記事を掲載し、注意喚起。  
：会報『第93号(7月号)』に当センター安全標語選考結果及び優秀賞作品(笠神西地域班の菅原康明会員受賞)を掲載。また、会報『第94号(10月号)』に宮城県SC連合会安全就業表彰結果(植木剪定職域班の熱海五郎会員受賞)を掲載。
- (12)塵芥車両に係る安全操作講習会の開催
- ⇒結果：塵芥車両による残材処理業務に従事している会員4名に対し、3月10日及び12日に当センター事務局職員が講師を務め実施〔当初、外部講師(モリタエコノス)に依頼したが、コロナ禍の折、講師依頼をすべてお断りしているとのことで断念〕。
- (13)運転業務従事会員及び事務局職員に対するアルコール度チェック検査の実施(毎日)
- ⇒結果：公用車を運転する会員及び事務局職員に対しては、毎日乗車前に検査を実施し、個人ごとの結果を「アルコールチェック表」に記入し保管。
- (14)市の健康診断受診及び治療の徹底の奨励
- ⇒結果：会員には、その都度奨励。新入会員に対しては、安全講習会でその必要性を説明。
- (15)施設内の簡易血圧測定器利用促進⇒結果：随時、声掛け実施。
- (16)事務所内壁に『事故発生状況』を掲示し、注意喚起
- ⇒結果：施設内通路の「安全掲示板」に掲示。
- (17)職域班グループ長に「事故発生状況」を配布し、その都度所属会員に伝達説明する体制整備
- ⇒結果：同一職域の事故発生の都度、事故報告書等の資料を基に報告。併せて安全巡回の際、従事会員に注意喚起。
- (18)全国安全週間(7月)に合わせ、会員に安全標語等を募集し、優秀作品をワークプラザ内に展示
- ⇒結果：6月15日募集通知文を全会員525名宛てに郵送。33名の会員(うち役員・安全部会員の3名を含む)から応募があり、役員・安全部会員からの作品を除く30点を対象に選考。

安全部会員の選考により優秀賞が決定し、7/20 表彰セレモニー

◎『災害は 慣れと過信と 油断から』

(笠神西地域班所属の菅原康明会員)

優秀作品の横断幕は、ワークプラザ研修室に掲示中。

(19) 公衆トイレ清掃業務を1人で行っている会員に防犯ブザーを貸与し、安全を確保

⇒結果：不審者対策として年間通して貸与。幸いにも、今まで使用履歴なし。

< 事故発生状況 >

(件)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度
1 傷害事故	4	5	13	5	5
(就業途上)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)
(就業中)	(4)	(5)	(13)	(4)	(5)
2 賠償責任事故	11	4	4	6	8
(対人)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(対物)	(11)	(4)	(4)	(6)	(8)
3 労災事故	0	1	0	4	2
(就業途上)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)
(就労中)	(0)	(1)	(0)	(3)	(2)
合計	15	9	17	15	15

7. 指定管理者としてのワークプラザの適正な運営

「多賀城市シルバーワークプラザ指定管理者基本協定書(平成30年2月)」に基づき、就労や地域活動など高齢者の活動機会を創出、支援することによって、高齢者の生きがいや健康づくりなどに寄与するため、今後とも適正な運営に努める。

⇒結果：新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市保健福祉部高齢福祉課と連携を取りながら多賀城市シルバーワークプラザの適正な運営に努めた。

- ・令和2年3月1日から15日まで技能講習会及び各種教室は中止。その後、3月31日まで中止延長。
- ・技能講習会は、令和2年4月から5月まで中止。3カ月スパンで実施している各種教室は、4月から6月まで中止。その後、7月から計画どおり実施するが、感染不安(?)のため受講申込者減少。

：感染拡大防止対策の徹底

- ・技能講習会及び各種教室開催時には「3密」を避け、定員を半数に削減し、来館前の体温測定、ソーシャルディスタンスの維持、マスク着用、手洗い・消毒、十分な換気の徹底、大声を出さない、自分が使用した机等の消毒拭き等をお願いし、利用者の協力を得ながら防止対策を徹底した。また、利用者退館後、毎日、事務局職員が玄関等の取っ手やカウンター、机や椅子、トイレのレバー等を消毒液でふき取り、「アルコール除菌チェック表」に記入し保管。

：定例報告会の開催

- ・1回目上半期分=9/15(火)11:30～、俳句教室修了式後実施。
- ・2回目下半期分=3/11(木)10:00～、日曜大工教室休憩時実施。

## 8. 組織運営体制の充実と事務の効率化

公益法人としての組織を維持するため、健全で安定した財政基盤の確立はもちろん、理事会、専門部会、派遣事業衛生委員会、地域班、職域班等の活動において、役職員及び会員の積極的な協議を重ね、より一層地域社会に開かれた事業運営に努める

本年度も、事業の拡大に全力で取り組むと共に、事務局体制の充実と事務作業の合理化を図りながら、経費節減に努め、効率化を高める

### (1) 組織活動

- ①理事会：年11回開催（うち2回は、みなし決議）。
- ②専門部会：広報部会は年4回開催、安全部会は年2回開催。
- ③派遣事業衛生委員会：年11回開催。初回4月28日は、コロナ禍のため中止。
- ④地域班長会議：6月22日(副班長にも出席依頼しクリーンプロジェクト事業の説明等)、12月25日(会報新年号の全世帯配布依頼等)開催。

### ⑤職域班

- ・植木剪定班：各班リーダー全員を招集しての会議は開催していないが、必要な都度、班ごとの集会を要請し、トラブル発生時の対応や安全就業の徹底等を確認・指導。
- ・機械刈り班：毎週1回夕方からリーダー打合せを行い、翌週の就業計画や安全対策等を確認。

### (2) 事務局体制

#### ①正規職員1名の採用と育成

本年度事業計画どおり10月1日付けで佐藤駿(27歳)を採用。

#### ②契約職員(主に派遣事業担当)の配置による事務処理の継続性を維持

4月1日付けでパートタイム職員1名を契約職員へ雇用形態変更。

## 令和2年度事業報告の付属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。